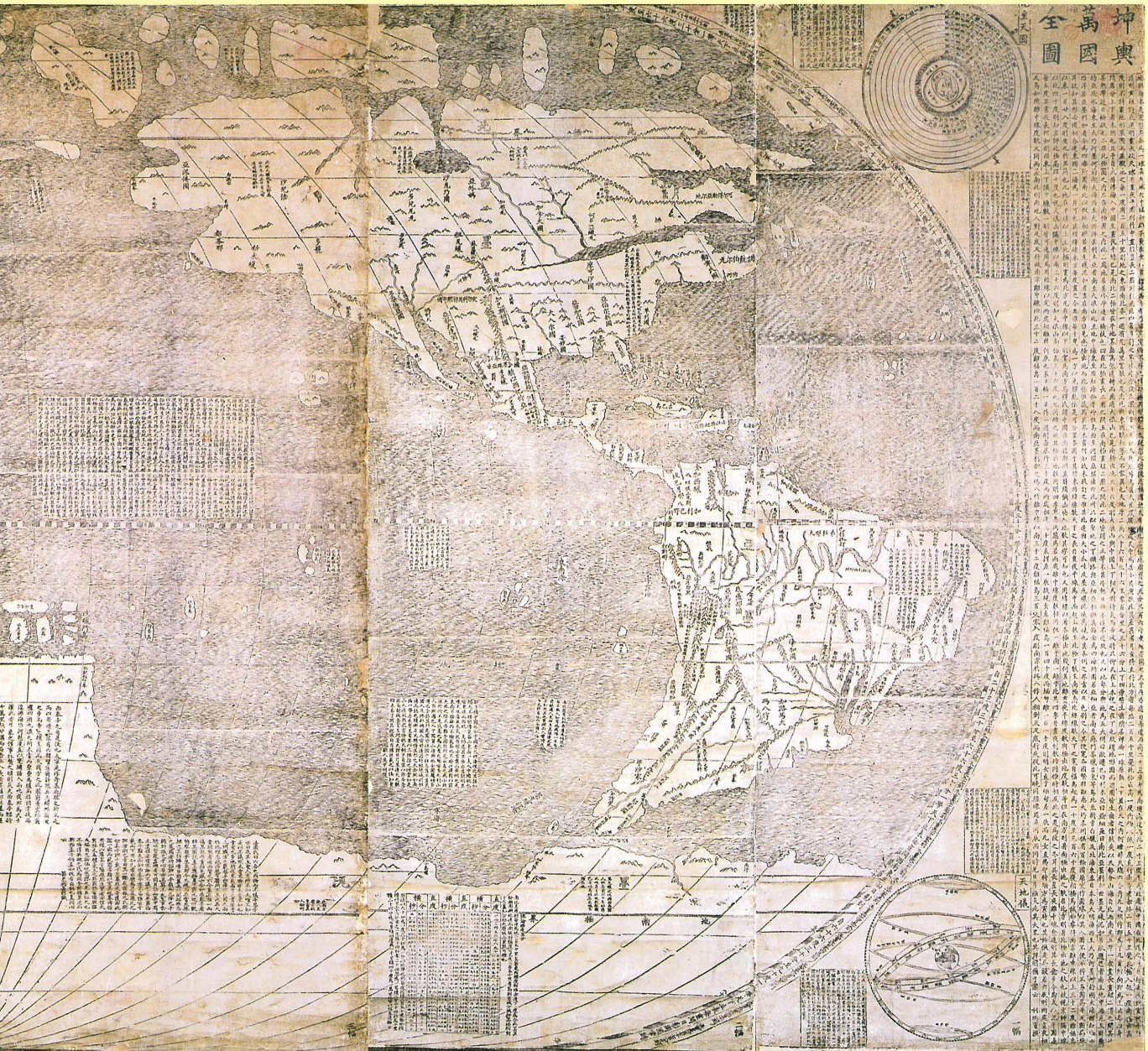


京都大学附属図書館概要

Outline of the Kyoto University Library

1996/1997



Kyoto University Library

Yoshida Honmachi,
Sakyo-ku, Kyoto 606-01
JAPAN

1996

歴代館長 Directors

氏名	就任	退任
島 文次郎	明治32. 11. 6	明治43. 7. 25
石川 一	43. 7. 25	44. 10. 1
新村 出	44. 10. 1	昭和11. 10. 19
羽田 亨	昭和11. 10. 19	13. 11. 25
本庄 栄治郎	14. 1. 17	17. 7. 28
沢 瀧 久 孝	17. 9. 1	22. 5. 31
原 随 園	22. 5. 31	24. 11. 8
泉 井 久之助	24. 11. 8	32. 7. 15
田 中 周 友	32. 7. 15	38. 7. 14
足 利 惇 氏 (事務取扱)	38. 7. 15	38. 7. 24
堀 江 保 蔵	38. 7. 25	41. 7. 24
宍 戸 圭 一	41. 7. 25	46. 3. 31
平 岡 武 夫	46. 4. 1	48. 3. 31
林 良 平	48. 4. 1	57. 3. 31
高 村 仁 一	57. 4. 1	59. 3. 31
西 原 宏	59. 4. 1	61. 3. 31
西 田 龍 雄	61. 4. 1	平成 4. 3. 31
朝 尾 直 弘	平成 4. 4. 1	7. 3. 31
長 尾 真	7. 4. 1	

目次 Contents

ごあいさつ Greeting	1
年譜 Chronology	2
図書館の機能 Services	3
1 F : 利用と調査 Circulation and reference services	4
2 F : 閲覧と資料 Reading rooms and study carrels	6
3 F : 展示と会議 Exhibitions and meetings	7
4 F : 情報処理の中核 Library computer room	8
B F : 保存 Deposit stacks	9
図書館システム構成図 Kyoto University library network	10
建物概要 Library building and facilities	10
図書館の現況と統計 Outline of the Library and it's statistics	11
組織, その他 Organizations and other data	12
案内地図 Location and maps	13



京都大学附属図書館は、京都帝国大学の創立から2年半後にあたる明治32（1899）年12月11日を創立の日としております。現在の図書館は、昭和59（1984）年4月に開館しました。

この建物の3層の地下書庫は約100万冊の収容能力を持ち、5万冊収容できる貴重書庫は木製、壁が木製落し込み構造となっており、空調防災の面でも十分に完備されたものとなっております。そこには40種179冊の重要文化財をはじめ、国内外の貴重な文献資料が納められております。

京都大学は来年（1997）創立百周年を迎えますが、現在全学における蔵書冊数は535万冊を超え、教育・研究のための基盤としての役割を着実に果たしてまいりました。これは今日の学生・研究者の皆様にとって大きな資源であり、ここまで京都大学の図書館を成長・充実させてこられた先輩の方々に感謝をしなければなりません。それとともに、我々も不断の努力で蔵書を増やし、次の世代に人類の知的財産を継承してゆくべきものと存じます。

学内外の170台を上回る図書館専用端末をもった図書館情報システムは、学内ネットワークを通じて一般の端末からも目録検索が出来ます。またCD-ROMサーバも設置し、MEDLINEの学内24時間サービスを開始、インターネットに対してもホームページを開設、外部からも目録検索が出来るようにいたしました。また、貴重書のデジタルイメージや図書の目次情報・全文テキストなども入れ、自由な電子読書を提供する電子図書館の研究開発も行っております。

情報化の進展の中で世界の図書館が結合され、どこの図書館の資料も利用できる環境が整備されつつあり、我々の図書館も大きく門戸を開いてゆく必要があります。

このような大きな変革期にある図書館の現状の中で、私どもは皆様の多様なご期待に応え、時代とともに生き、大学改革のまっただ中にある教育・研究のために出来るだけ良質のサービスを提供すべく不断の努力をしております。皆様におかれましても京都大学の図書館を愛し、積極的に活用して下さいますようお願いいたします。

平成8年3月

京都大学附属図書館長
長尾 真

- 明治30 (1897) 年 6 月 京都帝国大学創立
 31 (1898) 年 7 月 書庫の完成 (第 1 書庫, 煉瓦造, 2 階建)
 32 (1899) 年 7 月 閲覧室および事務室の竣工
 11 月 初代館長 島文次郎補任
明治32 (1899) 年12月 11日 閲覧業務開始 この日をもって附属図書館創立の日とした
 36 (1903) 年 4 月 書庫の増設 (第 2 書庫, 煉瓦造, 3 階建)
 41 (1908) 年12月 「附属図書館商議会議程」制定
 大正14 (1925) 年 7 月 書庫の増設 (第 3 書庫, 鉄筋コンクリート造, 4 階建)
 昭和 8 (1933) 年 9 月 第 2 閲覧室開設 (法経新館 2 階)
 9 (1934) 年 2 月 本学の蔵書100万冊
 11 (1936) 年 1 月 第 1 閲覧室焼失
 22 (1947) 年10月 京都帝国大学附属図書館は京都大学附属図書館と改称

 23 (1948) 年 2 月 図書館 (2 代目) 竣工
 34 (1959) 年 2 月 本学の蔵書200万冊
 12 月 附属図書館創立60周年記念式典挙行
 38 (1963) 年12月 開架閲覧室開設
 39 (1964) 年 9 月 附属図書館報「静脩」創刊
 41 (1966) 年 4 月 電子複写式による文献複写業務を開始
 46 (1971) 年 3 月 本学の蔵書300万冊
 54 (1979) 年12月 附属図書館創立80周年記念式典挙行
 56 (1981) 年 1 月 商議会「京都大学附属図書館新営計画」を決定
 12 月 本学の蔵書400万冊
 58 (1983) 年 1 月 分類表の変更 (N D L C : 国立国会図書館分類表を採用)

 10 月 図書館 (3 代目 : 現行) 竣工
 59 (1984) 年 4 月 新営図書館開館 貸出返却 (開架図書) の機械処理開始
 60 (1985) 年 1 月 バックナンバーセンター (B N C) 開設
 6 月 本館電子計算機, 東京大学文献情報センターと接続完了
 11 月 商用オンライン情報検索サービス, 代行検索を開始
 62 (1987) 年 6 月 外国雑誌センター館 (理工学系) に指定される
 平成 2 (1990) 年 8 月 館内 C D - R O M (スタンドアロン型) サービス開始
 10 月 O P A C / T S S (Online Public Access Catalog) 運用開始
 3 (1991) 年 9 月 本学の蔵書500万冊
 10 月 「今昔物語集」(鈴鹿本) 寄贈される
 4 (1992) 年 4 月 I L L サービス開始
 5 月 完全週休 2 日制下での土曜日開館開始
 10 月 日米ワンデイセミナー・第13回大学図書館研究集会を幹事館として開催
 6 (1994) 年 1 月 電子計算機更新・稼働
 9 月 附属図書館の将来構想等について検討開始
 7 (1995) 年 1 月 阪神・淡路大震災救援活動実施 (~ 3 月・神戸)
 3 月 閲覧システム更新
 「京都大学附属図書館の将来構想 (中間まとめ)」公表
 5 月 日曜日開館開始 (5 月 7 日より)
 C D - R O Mサーバネットワーク検索システム運用開始
 6 月 「今昔物語集」(鈴鹿本) 重要文化財に指定される
 8 (1996) 年 1 月 インターネットホームページ開設(URL:<http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>)

図書館の機能 Services

資料の提供 Reference and lending (附属図書館・館内資料として約76万冊所蔵している)

教養図書	(一般教養図書や学習図書を約8万冊開架している)
AV資料	(英独仏露中伊西韓日の語学学習テープ・ビデオテープを用意している)
研究資料	(各種資料を、全分野にわたって全学的な利用に供している)
参考調査資料	(約3万冊の資料が参考資料コーナーにある)
各種コレクション	(18種のコレクションが特殊文庫として整理されている)
貴重図書	(図書や標本、特殊文庫の多くが貴重書として特別な保管が施されている)
重要文化財指定	(「今昔物語集」など40種179冊の図書が指定されている)
学術雑誌	(本館所蔵雑誌及び工学部所蔵の化学系雑誌がある)
理工学系外国雑誌センター	(他大学にはないレアジャーナルも含め約1000誌所蔵する)
マイクロ資料	(フラフ資料、新聞、貴重図書などのマイクロ資料を所蔵)
HRAF資料	(世界の人類学・民族学・社会学・言語学関係の特殊資料が収集されている) HRAF: Human Relations Area Files

情報の提供 Information services (学内外図書館等、学術情報センターとネットワークで結んでいる)

調査の援助	(書誌情報調査や、図書館利用の援助をする)
資料の所在	(資料の所在場所を確認し、入手の援助をする)
OPAC/TSS	(オンライン目録を、研究室のパソコンからも検索できる)
オンライン情報検索	(学術情報センターや商用データベースを有償で代行検索できる)
総合目録カード	(オンライン入力されていない図書のために、京大全学総合目録がある)
資料の入手	(国内および諸外国図書館所蔵の資料情報を入手できる)
図書館相互協力	(文献複写サービスを中心とした図書館間の相互協力に参加している)
ニューメディアのサービス	(新しく流通しはじめたニューメディアにも迅速に対応している)
CD-ROM	(内外の二次情報や新聞記事等をパソコンで検索できる。また、学内LAN・KUIINSを通じてネットワークでの利用もできる)
画像入力作成	(本館所蔵の貴重書等の画像入力の作成に着手している)
展示会・講演会	(通常接することのできない所蔵貴重資料を、テーマ別に年1-2回公開展示している)

保存の機能 Deposit

貴重書庫	(24時間恒温恒湿、防火設備のある貴重資料保管用の書庫がある)
バックナンバーセンター	(学内から収集のバックナンバー約9000誌を地下書庫に保管している)

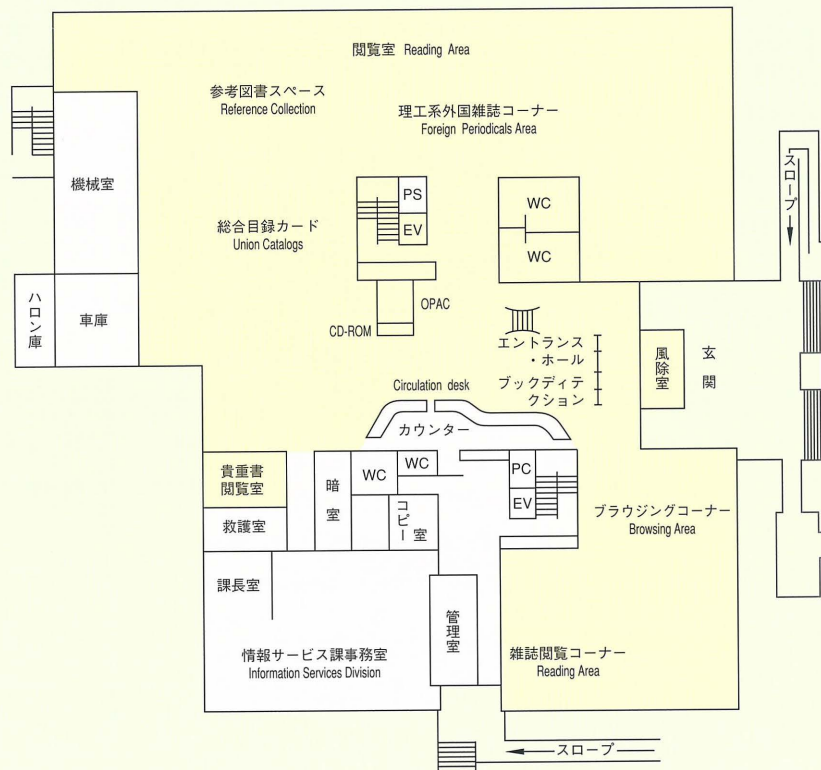
利用の機能 Utilities

入退館の簡易性	(ゲートで図書館利用証を入館機に提示すれば入館できる。退館は自由)
貸出・返却の簡易性	(開架図書の貸出・返却手続きは、コンピュータで迅速に処理される)
手続きの集中化	(1階のメインカウンターですべての手続きができる)
開架書架	(新着図書を、自由に手にとって利用できる)

調整の機能 Inter-Library coordination

図書館(室)の協力調整	(学内60余の図書館(室)間の相互協力などの連絡調整を行っている)
近畿地区大学図書館との連携協力	(学外では特に近畿地区の国公立大学図書館間との連携協力を図っている)

1F: 利用と調査 Circulation and reference services



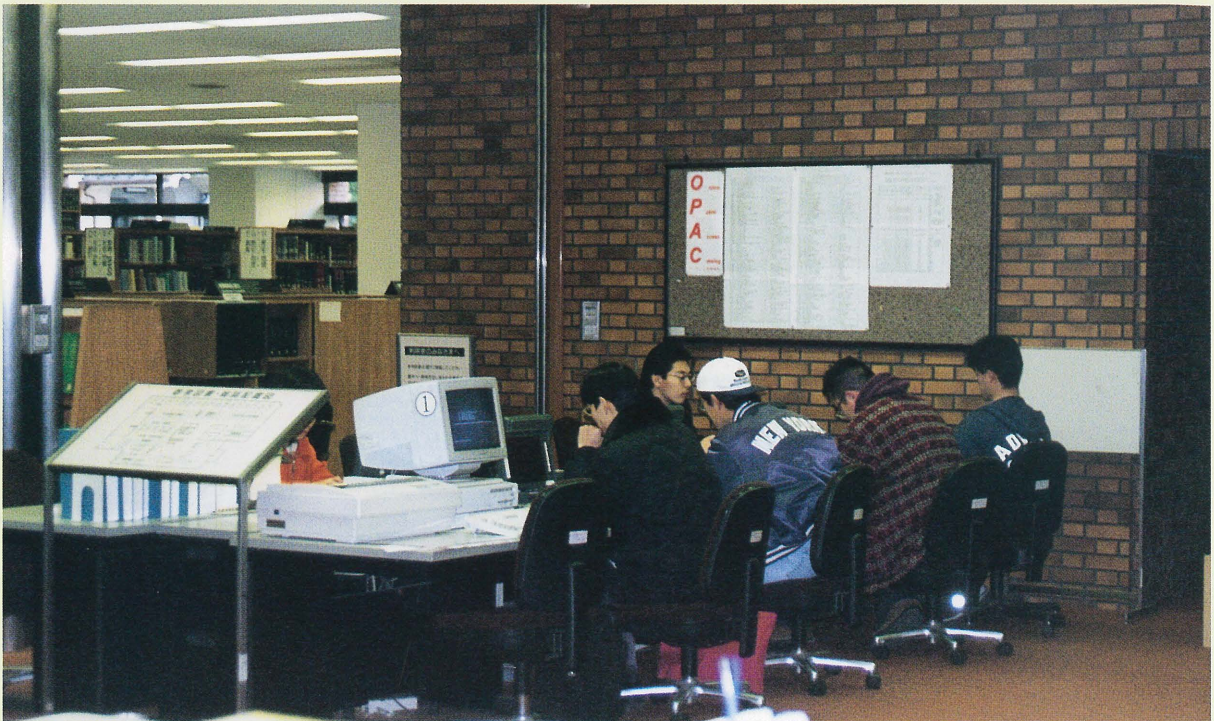
△玄関 Entrance to the Library

吹き抜けを見通す遮蔽ガラスの玄関ポーチには、20㎡の自動ドア付き風除室があり、夏冬とも快適な空調効果を約束する。重厚な煉瓦タイル張りの玄関に立つとき、歴史と伝統への信頼感がもたらされる。



△メインカウンター Circulation desk

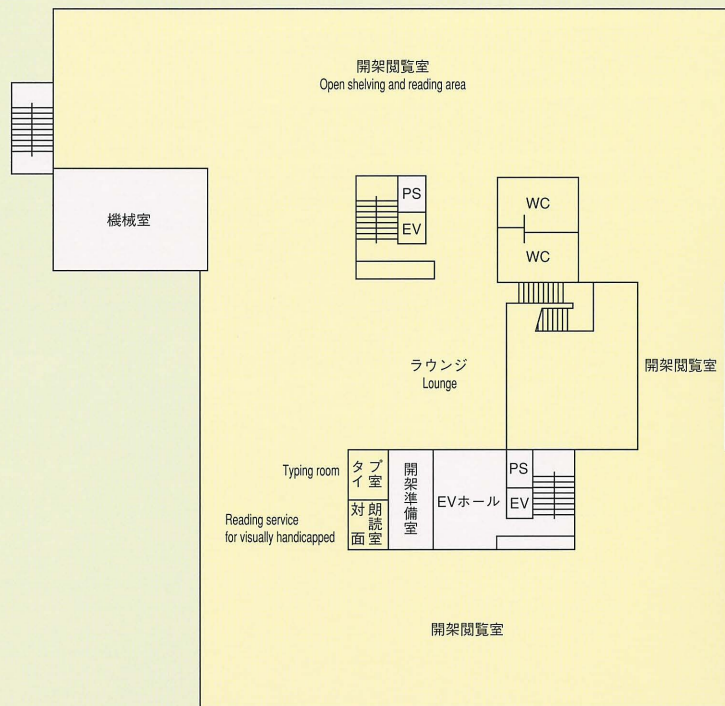
ゲートで図書館利用証を入館機に提示し、入ったところにメインカウンターがある。館内のすべてのサービスはここで行っている。カウンターの各セクションでは、インフォメーション、図書・雑誌の出納、複写・相互利用サービス、参考調査等の機能をはたしている。



△オンライン目録検索端末機 OPAC(Online Public Access Catalog)

利用者用に18台の端末機が用意されている。京都大学が入手した図書及び雑誌の所在情報を検索できる。他に、CD-ROM検索用及びネットワークシステム検索用端末も数台設置されている。

2F : 閲覧と資料 Reading rooms and study carrels



△ 2階開架閲覧席 2F. Open shelving and reading area

全館980席のうち、2階閲覧室には約650席が用意されている。中心にユーティリティーラウンジ、吹き抜けなどを集めその周辺に書架・閲覧席をセットしたコア様式により閲覧席は自然光を十分に得られる仕組みになっている。

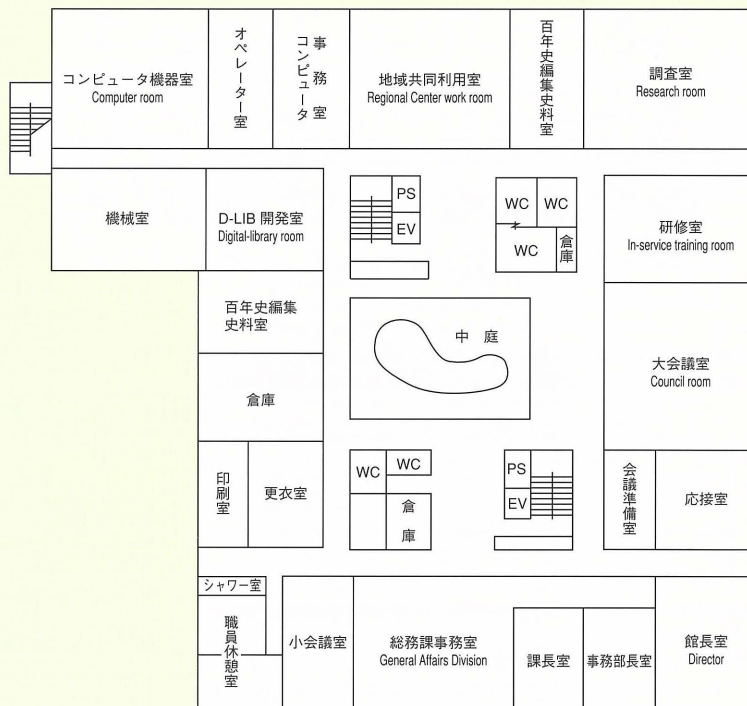
3F：展示と会議 Exhibitions and meetings



△展示ホール Exhibition hall

これまで、附属図書館独自または部局との共催による展示会を年1～2回開催。近年では「京洛出版の軌跡」(平成5年度)、「吉田松陰とその同志」(平成6年度)、「舎密局から三高へ」(平成7年度)等を開催している。

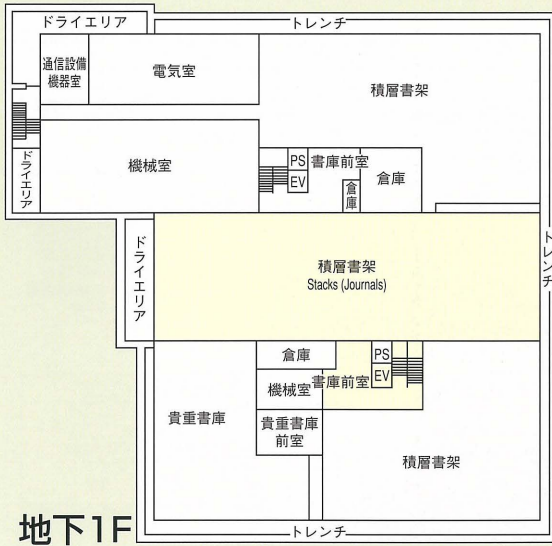
4F：情報処理の中核 Library computer room



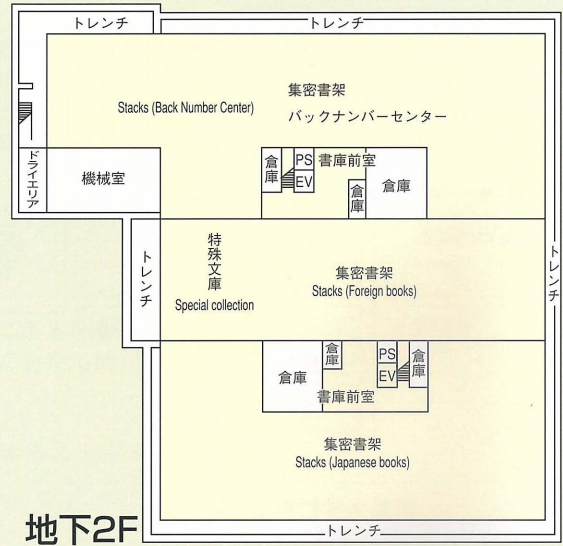
△コンピュータ室 Computer room

ホストコンピュータ (FACOM M-1400・平成6年1月更新), 閲覧システムサーバ (S-4/20・平成7年4月稼働), CD-ROMサーバ (Sun SPARCserver 20・平成7年4月稼働) の他にK U I N S (学内LAN)のノードが設置されている。

BF : 保存 Deposit stacks



地下1F



地下2F

△地下書庫 Stacks (BF 1,2)

地下1Fには約25万冊の収容力をもつ積層式書架に、内外雑誌や京都大学博士学位論文等を収蔵する。最深の地下2Fには約75万冊収容可能な集密書架に、バックナンバーセンターと特殊文庫を置き、また50万冊の和洋図書を収蔵している。

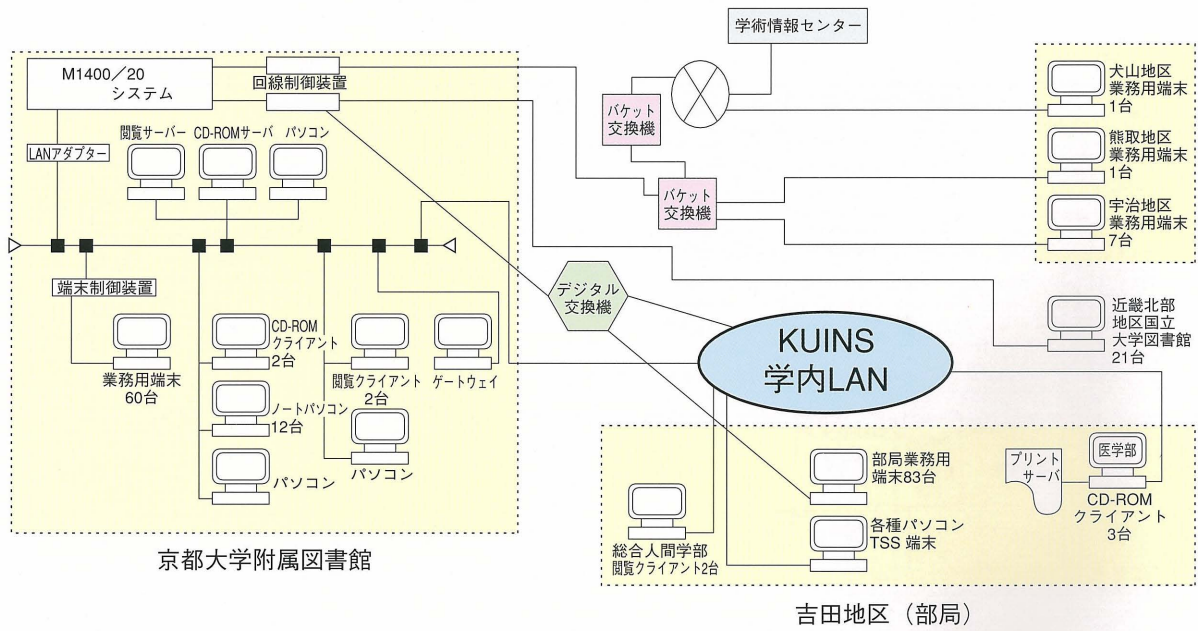


△貴重書庫 (地下1F) Treasure room (BF1)

5万冊の収納力がある貴重書庫は、24時間連続の空調設備をもち、内部はブナと米杉の板張りとなっている。とくに壁面は木板の落とし込み構造になっている。このため結露、湿度変化への対応は万全である。

図書館システム構成図

Kyoto University library network



建物概要

Library building and facilities

構造

鉄筋コンクリート造り (SRC)
地上4階 地下2階 塔屋1階

面積

建築面積 2,477.86^m²
延べ面積 14,011.25^m²

各階床面積と主な施設内容

塔屋階	256.77 ^m ²	エレベーター機械室, 空調機械室
4階	2,262.09 ^m ²	大会議室, 小会議室, 研修室, 地域共同利用室, 調査室, コンピューター機器室, オペレーター室, D-LIB (電子図書館) 開発室, 百年史編集史料室, 館長室, 応接室, 事務部長室, 総務課事務室
3階	2,297.98 ^m ²	展示ホール, AVホール, AVブース, 研究個室, 共同研究室, 研究開発室, 端末機器室, 特殊資料 (HRAF) 室, 情報管理課事務室, 工学部図書室
2階	2,168.70 ^m ²	開架閲覧室, タイプ室, ラウンジ, 対面朗読室
1階	2,319.29 ^m ²	玄関, エントランスホール, カウンター, 閲覧室, ブラウジングコーナー, 総合目録カードコーナー, 検索用端末コーナー, 参考図書スペース, 雑誌閲覧コーナー, 理工系外国雑誌コーナー, 貴重書閲覧室, マイクロリーダーコーナー, 情報サービス課事務室
地下1階	2,353.21 ^m ²	貴重書庫, 積層書庫
地下2階	2,353.21 ^m ²	集密書庫

図書館の現況と統計

Outline of the Library and its statistics

□開館時間 Library hours

- ・ 平 日 午前 9 時～午後 9 時
- ・ 土曜日・日曜日 午前10時～午後 5 時
- 但し, 特定期間
- 夏季休業期間 午前 9 時～午後 5 時
- 冬季休業期間 /

□休館日 The Library is closed on the following days

- ・ 国民の祝日等
- ・ 本学創立記念日
- ・ 年末年始, 及び図書整備等, 業務上の都合による休館
毎月の末日 (末日が土曜日又は日曜日にあたる時は、その直後の月曜日)
4 月 1 日～4 月 5 日
12 月 25 日～翌年 1 月 5 日
- 以上の他, 臨時に休館することがある

□利用資格 Qualification for utilization

- ・ 本学の名誉教授
- ・ 本学の教職員
- ・ 本学の学生
- ・ その他, 館長が特に認めた者

○利用対象者 (平成 7 年 9 月 30 日現在) University personnel and students

学部学生	大学院学生	教職員	その他	合 計
13,833	5,609	5,869	1,923	27,234

○年間総入館者数 (平成 6 年度) Number of users in 1994

学内者	学外者	合 計
680,701	3,253	683,954

○蔵書数 (平成 7 年 3 月 31 日現在) Library holdings 以下 () 内は、附属図書館内数

和 書	洋 書	合 計
2,727,685 (504,137)	2,574,836 (254,437)	5,302,521 (758,574)

○年間増加冊数 (平成 6 年度) Acquisitions in 1994

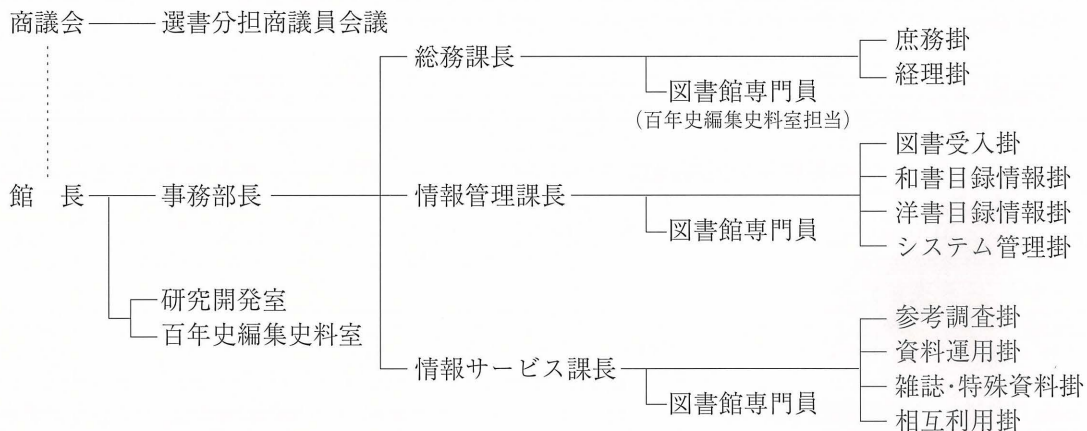
和 書	洋 書	合 計
41,332 (5,773)	47,043 (1,693)	88,375 (7,466)

○所蔵雑誌種類数 (平成 7 年 5 月 1 日現在) Number of periodicals

和雑誌	洋雑誌	合 計
30,565 (10,269)	34,575 (9,400)	65,140 (19,669)

組織, その他 Organizations and other data

▷ 組織機構 Organizational chart



▷ 職員数 (平成7年5月1日現在) Library staff 70名 (非常勤職員を含む)

▷ 経常費 (平成6年度) Expenditures

図書購入費	図書館運営費	合計
127,733千円	233,613千円	361,346千円

☆ 主な出版物 Publications

- 京都大学蔵大惣本目録 全3分冊 (1988.2-1990.3)
- 國女歌舞妓繪詞 (複製) (1993.6)
- 京都大学図書館検索システム OPAC/TSS User's Manual 第2版 (1995.3)
- 京都大学附属図書館所蔵貴重書漢籍抄本目録 (1995.6)
- 京都大学附属図書館報「静脩」 年4回発行
- L S N (Library Service News) 月1回発行

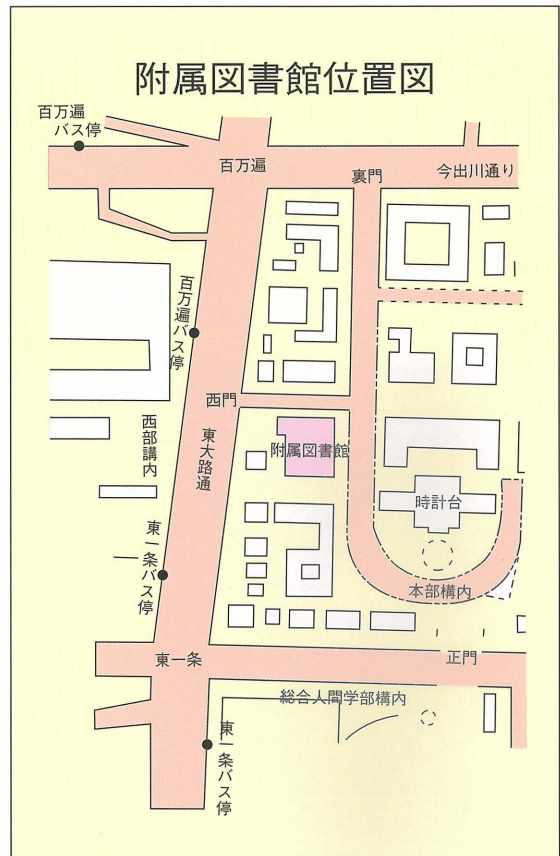
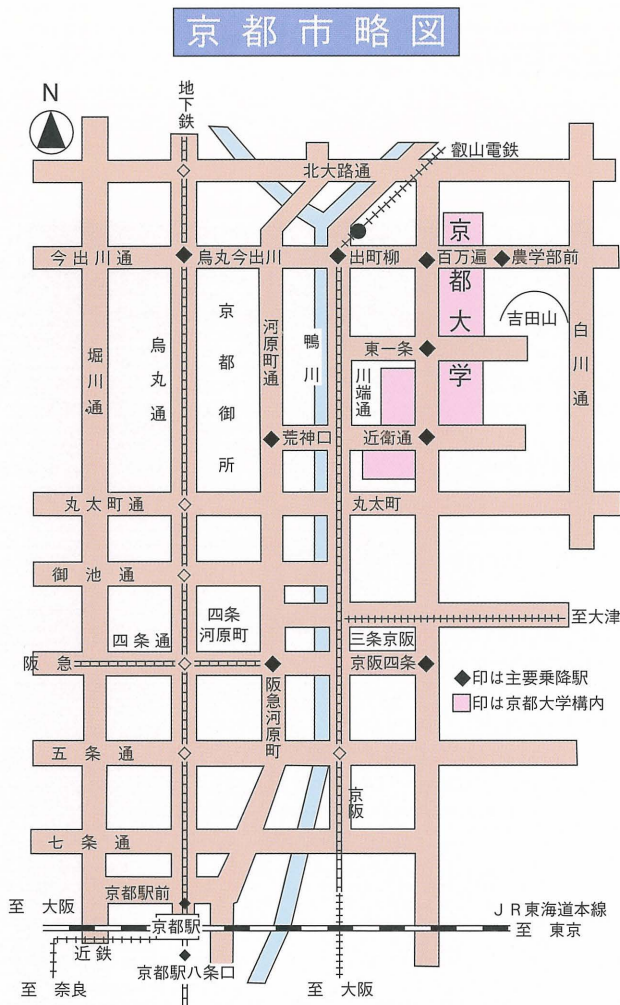
☆ 重要文化財一覧 (40種179冊) Important cultural assets

- 紙本墨書 万葉集 巻16 (尼崎本) 1帖 平安末鎌倉初期筆写
- 紙本墨書 古今集注 20巻2帖 藤原教長撰 仁治2年 (1241鎌倉中期) 伝二条師忠筆
- 紙本墨書 兵部記 49巻 兵部卿 平信範 長承元年 (1132) ~ 承安元年 (1171)
- 紙本墨書 範国記 1巻 平範国 長元9年 (1036) 夏秋冬記
- 紙本墨書 知信記 1巻 平知信 天承2年 (1132) 春記
- 清原家家学書 34種 紙本墨書 (南北朝から室町時代のものを中心とする)
- 今昔物語集 (鈴鹿本) 存9巻

☆ 特殊文庫 Special collection 現在18種の文庫があり, その多くは貴重書や重要文化財の指定を受けている。

- 平松家本 朝廷の儀式典例, 日記に貴重なものが多い。兵部記, 範国記, 知信記の三つは重要文化財の指定を受けている。また, 眞名字本平家物語も著名である。
- 清家文庫 明経道清原家に伝わった経書ならびに日記秘伝を中心とする。清原家家学書34種は重要文化財であり, 中でも孝子伝は複製され広く紹介された。
- 近衛家本 著名な陽明文庫が設立された際, 近衛家から3150冊の典籍が本学に寄贈された。漢籍の他, 宇津保物語, 落窪物語, 大鏡などの古写本もある。
- 谷村文庫 大正昭和の実業家谷村一太郎氏旧蔵の和漢9200余冊の稀書である。新村出博士の縁で本学に寄贈され, 光明皇后願経, 伝桓武天皇写経など異色である。
- 維新資料 吉田松陰の遺墨を中心に, 維新の関係資料が多数ある。奇兵隊日記や大久保利通自筆「三藩盟約書草案」, 平野国臣のこより文字など貴重なものが多数ある。
- 旭江文庫 大賀寿吉旧蔵のダンテに関する典籍3,000冊の集書である。原典はもとよりダンテに関する新聞, 雑誌の断簡にまで及ぶ。わが国では本文庫の他に求められない。

案内地図 Location and maps



市バス案内図 Transportation :from Kyoto Station and others

主要鉄道駅	乗車バス停	市バス系統	市バス経路等	下車バス停
京都駅 (JR・近鉄)	京都駅前	206系統 特17系統	七条－東大路經由 北大路駅行 河原町－今出川通經由 錦林車庫行	東一条又は百万遍 百万遍
	京都駅八条口	17系統	河原町－今出川通經由 錦林車庫行	百万遍
阪急河原町	四条河原町	201系統 31系統	四条－東大路通經由 百万遍・みぶ行 四条－東大路通經由 岩倉操車場行	東一条又は百万遍 〃
	四条河原町	3系統 17特17系統	河原町－今出川通經由 北白川仕伏町行 河原町－今出川通經由 錦林車庫行	百万遍 百万遍
地下鉄今出川	烏丸今出川	201系統 203系統	今出川－東大路通經由 祇園・みぶ行 今出川－白川通經由 祇園・西大路四条行	東一条又は百万遍 百万遍
京阪出町柳	当駅下車東へ徒歩15分			



平成8年3月

京都大学附属図書館

〒606-01 京都市左京区吉田本町

TEL075-753-2613

FAX075-753-2629